



画：ブライアン・ウィリアムズ／「茜の竹生島」 曲面水彩画

第63期 年次報告書

平成28年7月1日 ▶ 平成29年6月30日

トップメッセージ

- 当期の概況と今後の取り組み

工事紹介

- ポルシェセンター滋賀新築工事
- 野洲停車場線 補助道路整備工事

TOPICS

- CLT材のベンチを滋賀県に寄贈
- (一社)日本経済団体連合会入会

TOP MESSAGE

トップメッセージ

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご支援、ご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第63期(平成28年7月1日から平成29年6月30日まで)の事業活動が終了いたしましたので、概況および今後の取り組みについてご報告させていただきます。

当社では今後創業100周年に向けて持続可能な経営を行っていくために、次にあげる投資活動を積極的に進めてまいります。株主のみなさまにおかれましては、ますますのご支援、ご愛顧を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

ヒトへの投資

建設業界におきましては、若年層の建設業界離れや少子化の影響により人手不足や高齢化は深刻な課題となっています。このような状況の中、新卒者はもとより転職・再就職者および女性、障害者等の雇用に努めながら、ワーク・ライフ・バランスを重視し、働きやすい環境を整えています。引き続き、国の「働き方改革実行計画」を推進するとともに、専門知識や技術の修得を支援し、生産性の高い働き方の実現に取り組んでまいります。

i-Constructionへの投資

現在、国土交通省では、「ICT^{*}の全面的な活用(iCT土工)」等の施策を建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性向上を図り、魅力ある建設現場を目指す取り組みであるi-Construction(アイ・コンストラクション)を進めています。そこで、公共工事の比率が高い当社におきましても、このような要望に応えられるよう、近年採用しております若手社員を積極的に登用し、3Dのモデリング^{**}等の実証実験を行うなど、i-Constructionの推進活動を展開しております。

CLTへの投資

当社は従前からご報告させていただいておりますように、CLT^{***}の推進活動を積極的に展開しております。その中で、CLTの良さを広く多くの方々にご理解いただき、私どもも自信をもってお勧めするためには、CLTの良さを自らが体感することだと考えました。そこで当社創業の地にある滋賀県甲賀市信楽町の本店を全面的にCLTを採用して新築し、平成29年3月に完成いたしました。この建物の景観につきましては当社のホームページにストリートビューを掲載しておりますので、株主のみなさまにも「木のぬくもり」をご実感いただければと思います。また、実際に全面的にCLTを採用した

建物を使用していくことで、日本の風土における経年劣化を観察でき、早期に必要な対策を講じることが可能となることで、顧客満足度の向上を図っていきたいと考えております。

子会社への投資

当社は平成28年9月に滋賀県東近江市の舗装工事会社として建設業に取り組んできた、株式会社古澤建設を子会社化いたしました。これは、今後に増加が見込まれる老朽化した社会インフラ整備工事におきまして、舗装工事や修繕工事等でシナジー効果が期待できると考えております。

SDGsへの積極的な関わり

最後に、冒頭に申し上げましたように、当社では、持続可能な経営を会社理念と認識しております。これは何も企業経営に限った考え方ではなく、2015年9月にニューヨークの国連本部で開催された「国連持続可能な開発サミット」において、150を超える加盟国首脳の参加のもと「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。このアジェンダが、「人間・地球および繁栄のための行動計画」として掲げた目標は17のゴールと169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」であり、その取り組みの重要性が高まっております。この考えは、私どもの会社理念と同様に、「持続可能」という点を最重要視している点で一致しております。また、当社がございます滋賀県におきましても、マザーレイクと称される琵琶湖を抱える土地柄から、積極的に取り組んでいく姿勢を表明しております。そこで、当社におきましても専門知識を活かしたお手伝いをさせていただきたく、その方法を模索しております。

平成29年9月

株式会社 三東工業社
代表取締役社長 奥田 克実

※ICT

ICT(Information Communication Technology)とは、情報通信技術のことを指し、ICTを活用することにより高効率・高精度の施工をすること。

※3Dのモデリング

3Dのモデリングとは、建設現場の完成図等を3次元化し、現場の見える化を図ること。

※CLT

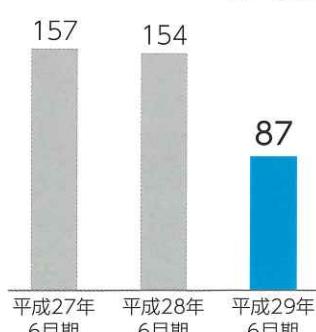
CLT(Cross Laminated Timber)とは、ひき材の繊維方向が層ごとに直交するように重ねて接着したパネルのこと。

財務ハイライト

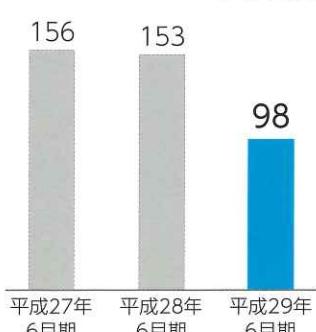
売上高		
4,792百万円		
(単位:百万円)		



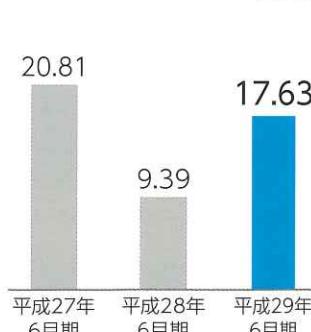
営業利益		
87百万円		
(単位:百万円)		



経常利益		
98百万円		
(単位:百万円)		



1株当たり当期純利益		
17.63円		
(単位:円)		





**建築部門
完成工事**

ポルシェ センター滋賀新築工事

■場所：滋賀県栗東市上鉤地先 ■発注者：株式会社ティーアイホールディングス様
■工期：平成28年11月～平成29年3月 ■概要：鉄骨造 一部2階建 延床面積979.56m²

当社栗東本社の近く、国道1号沿いの自動車メーカーが立ち並ぶ中、また新しいスタイリッシュな自動車店舗が誕生いたしました。

この「ポルシェ センター滋賀」を施工させていただくにあたりましては、過去に自動車販売店もしくは整備店舗を手がけさせていただいた当社の実績を信頼してのご発注となりました。また、当社の設計・施工案件でもあったため、過去の豊富な経験に基づき、ショールームのみならず従業員専用エリアにおいてもさまざまな提案をし、お施主様の満足度を高めていくよう努力をいたしました。特に、このお施主様の工事は今回3度目にあたり、前回の経験を活かして段取りもスムーズに行うことができました。

工期が短く、交通量も多い場所でしたが、外装工事と内装工事を同時に実行し、工期短縮を図るなどの工夫をし、また、地元近隣の住民の方々とも、清掃作業、除草作業、挨拶を積極的に行うことで良好な関係を保ち、問題なく無事故無災害で竣工することができました。



現場代理人 柴田 隆
(建築工事部 工事長)



**土木部門
完成工事**

野洲停車場線 補助道路整備工事

■場所：滋賀県野洲市小篠原（JR琵琶湖線 野洲駅南口） ■発注者：滋賀県南部土木事務所 道路計画課 ■工期：平成27年9月～平成28年12月



現場代理人 杉本 修啓
(土木工事部 工事長)



この工事は国道8号からJR琵琶湖線「野洲駅」につながる道路の一区間ににおける整備工事です。

この区間では、将来的に無電柱化を目指すことでバリアフリー化された道路に整備し、また、景観の面でも快適な道路にすることを最終的な目標にされています。国土交通省の政策により滋賀県が補助金を受け、今回はその第一段階として地中に電線を通すための配管をする工事を当社が請け負いました。

施工場所は駅前の現道上という厳しい条件下にあり、交通量也非常に多い中で大型機械を投入しての作業となりました。駅前の商店等は連携しており、作業スペースが非常に狭く、現道を片側規制しながらの作業となつたため、通行人、通行車両からの苦情も発生しておりました。しかしながら現場に面する商店、あるいは近隣の店舗の方々と良好な関係を図りながらさまざまな問題もクリアし、無事故無災害で竣工することができました。地元のみなさま始め、関係者の方々に感謝するとともに、将来この整備が完成し地元の方々や道路を通行するすべての方に安心・安全・快適に使用していただけるよう、引き続き社業に励んでまいりたいと思います。

TOPICS

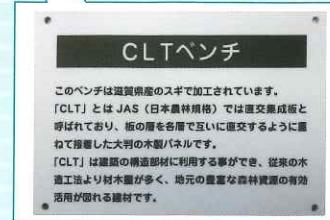
■CLT材のベンチを滋賀県に寄贈いたしました

平成29年4月14日、当社信楽本店建築の際に発生したCLTパネルの端材で作製した滋賀県産材のCLTベンチを、滋賀県庁に寄贈いたしました。

滋賀県では現在、CLTなどの森林資源の循環利用を促進し、林業の成長産業化に向けた取り組みを積極的に推進しております。当社もまた、その一端を担いたいと日々CLT事業の推進に傾注しているところでございます。

三日月大造知事はベンチ寄贈を大変喜んでくださいました。右の笑顔の写真が滋賀県のホームページに掲載されております。

また、これに引き続き当社信楽本店の所在地である甲賀市ならびに本社所在地の栗東市にも、同じCLTベンチを寄贈させていただきました。訪れた県民、市民のみなさまに、このベンチに座って肌で「木のぬくもり」を感じていただけましたら幸いです。



■(一社)日本経済団体連合会に加入いたしました

平成29年4月3日、当社は「一般社団法人 日本経済団体連合会」の会員となりました。

滋賀県ではまだあまり会員数が多くはありませんが、当社が積極的にCLT事業を推進しているという点が評価され、加入する運びとなりました。

これからも、日本の経済をリードしていく団体の一員として責任と誇りをもって、各事業を推進し、低炭素社会の実現に貢献したいと考えております。

▶ 株式の状況

発行可能株式総数 22,000,000株
 発行済株式の総数 6,860,000株
 当期末株主数 855名

▶ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社東物産	880	12.85
合同会社M&S	526	7.67
三東工業社従業員持株会	314	4.59
株式会社滋賀銀行	280	4.08
中川徹	250	3.66
東しづゑ	181	2.65
大西藤司	165	2.41
大洋基礎工業株式会社	160	2.33
中川瑞子	152	2.23
佐藤兼義	128	1.87

(注) 持株比率は、自己名義株式4,367株を控除して計算しております。

■ 株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月
基準日	定時株主総会 毎年6月30日 期末配当 每年6月30日 中間配当を行う場合 12月31日 その他必要ある場合はあらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
インターネットホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場金融商品取引所	東京証券取引所

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

▶ 会社概要

設立 昭和29年7月
 資本金 8億4千9百50万円
 従業員数 81名
 主な事業内容 土木、建築、舗装、各工事の総合請負
 建設業法に基づく許可
 国土交通大臣許可(特-27)第9082号
 設計監理 一級建築士事務所
 滋賀県知事登録(口)第2101号
 不動産取扱 宅地建物取引業者免許
 滋賀県知事(7)第1845号
 労働者派遣
 厚生労働大臣許可 派25-300225

▶ 取締役

代表取締役社長	奥田克実	取締役	田中久雄
常務取締役	細川礼昭	取締役(常勤監査等委員)	奥村敏朗
取締役	中村幸治	取締役(監査等委員)	山本泰造
取締役	矢森貞行	取締役(監査等委員)	津田穂積
取締役	山本喜彦		

(注) 山本泰造氏と津田穂積氏は社外取締役であります。

▶ 主要な営業所

本社	滋賀県栗東市上鈎480番地
本店	滋賀県甲賀市信楽町江田610番地
三重営業所	三重県伊賀市上野丸之内57番地17号
大津営業所	滋賀県大津市長等三丁目2番23号

当社ホームページのご紹介

当社のホームページは、ご覧いただきましたでしょうか?
 株主・投資家のみなさまに対して、企業情報や財務情報についての積極的な情報公開を随時行っております。また、みなさまからのご意見もお待ちしております。



<http://www.santo.co.jp>



■ 表紙絵画に寄せて

「茜の竹生島」曲面水彩画

滋賀県長浜市尾上町。琵琶湖の最高の風致地区の一つであり、四季を通してここを作品にする。神秘の竹生島が夢をたどって沖に浮かんでいる。

by Brian Williams

ブライアン・ウィリアムズ オフィシャルサイト <http://www.brianwilliamsart.com>

